

■調査研究報告 第1号 (1988年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	学芸課	「県内主要古墳の調査 (I) 行田市高山古墳、白山古墳及び花園町黒田古墳群の測量調査」	pp.1-22	○
02	杉崎茂樹	「県指定「農夫埴輪」について」	pp.23-27	○
03	田中正夫	「将軍山古墳出土遺物の資料調査報告 (I)」	pp.28-32	○
04	柳 正博	「入間川の水神信仰」	pp.33-42	○

■調査研究報告 第2号 (1989年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	田中正夫	「史跡埼玉古墳群保存修理報告 丸墓山古墳保存修理事業の報告」	pp.1-40	○
02	駒宮史朗	「県内主要古墳の調査 (II) 戸場口山古墳範囲確認調査」	pp.41-52	○
03	中島利治 谷井 彪 駒宮史朗 若松良一 田中正夫	「埼玉古墳群周辺遺跡の検討 (I)」	pp.53-64	○
04	谷井 彪	「岡部町水窪遺跡出土大柄渦巻文土器について」	pp.65-80	○
05	柳 正博	「利根川の水神信仰」	pp.81-96	○

■調査研究報告 第3号 (1990年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	若松良一	「瓦塚古墳の調査から 造り出し出土の供献土器について」	pp.1-24	○
02	谷井 彪	「行田市船原内郷通遺跡出土縄文後期の土器について」	pp.25-54	○
03	栗原文蔵 駒宮史朗	「行田市陣場遺跡の調査」	pp.5-72	○
04	石川博行	「埼玉の獅子舞「剣掛かり」について」	pp.73-102	○
05	柳 正博	「埼玉の灌漑用具—いわゆるスッポンをめぐって—」	pp.103-114	○

■調査研究報告 第4号 (1991年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	若松良一	「〈資料報告〉埼玉将軍山古墳出土の馬冑」	pp.1-12	○
02	中島利治 大和 修	「熊谷市中条出土遺物—鏡・刀・玉—」	pp.13-16	○
03	谷井 彪	「島之上遺跡出土大木式系土器の周辺」	pp.17-42	○
04	石川博行	「おばあさんの涙—『剣掛かり』の唄について—」	pp.43-54	○
05	田中裕子	「鳥を追い払う—鳥害防除法の一考察—」	pp.55-66	○

■調査研究報告 第5号 (1992年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	若松良一	「〈資料報告〉埼玉稲荷山古墳中堤発見の朝顔形円筒埴輪」	pp.1-2	○
02	若松良一 日高 慎	「形象埴輪の配置と復原される葬送儀礼(上)―埼玉瓦塚古墳の場合を中心に―」	pp.3-20	○
03	県立さきたま資料館 学芸課	「古墳詳細分布調査 試掘・測量調査の報告」	pp.21-40	○
04	石川博行	「企画展「くらしの中の神々」覚書」	pp.41-52	○
05	田中裕子	「〈資料紹介〉農家の手紙 新収集資料「手習双紙 普通農用文」から」	pp.53-62	○

■調査研究報告 第6号 (1993年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	若松良一 日高 慎	「形象埴輪の配置と復原される葬送儀礼(中)―埼玉瓦塚古墳の場合を中心に―」	pp.1-12	○
02	利根川章彦	「二重口縁壺小考(上)」	pp.13-25	○
03	大和 修	「杉戸町目沼10号墳出土の円筒埴輪棺について」	pp.27-32	○
04	大友 務	「行田市埼玉の年中行事―1975年前後の正月から初午まで―」	pp.33-38	○
05	田中裕子	「麦の畝間をかいまみる―畑作用具・シッピーキについて―」	pp.39-50	○

■調査研究報告 第7号 (1994年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	県立さきたま資料館	「県内主要古墳の調査(Ⅲ)―戸場口山古墳・中の山古墳範囲確認調査―」	pp.1-14	○
02	利根川章彦	「二重口縁壺小考(下)」	pp.15-24	○
03	若松良一 日高 慎	「形象埴輪の配置と復原される葬送儀礼(下)―埼玉瓦塚古墳の場合を中心に―」	pp.25-46	○
04	岡本健一	「埼玉将軍山古墳の横穴式石室について」	pp.47-54	○
05	田中祐子	「稲荷様の年始まわり」	pp.55-64	○

■調査研究報告 第8号 (1995年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	増田逸朗	「北武蔵における初期横穴式石室導入期の様相」	pp.1-12	○
02	岡本健一	「埼玉将軍山古墳出土の鞍形埴輪」	pp.13-22	○
03	利根川章彦	「吉見町山の根古墳の年代について」	pp.23-32	○
04	宮 昌之	「埼玉古墳群関連文献目録Ⅰ」	pp.33-46	○
05	田中裕子	「『体験型企画展』開催の試み」	pp.47-60	○
06	大友 務	「行田市埼玉の年中行事―1975年前後のこと八日から晦日払いまで―」	pp.61-72	○

■調査研究報告 第9号 (1996年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	増田逸朗	「模様積石室小考」	pp.1-14	○
02	岡本健一	「將軍山古墳石室出土遺物の所在について」	pp.15-24	○
03	宮 昌之	「埼玉県における古代瓦の諸問題 (2)」	pp.25-32	○
04	斎藤修平	「看護のフォークロア」	pp.33-42	○
05	田中裕子	「畑作用具シッピキ・追補」	pp.43-56	○
06	渡辺 勤	「博物館と学校教育の連携—体験的学習の場としての博物館事業を中心として—」	pp.57-66	○

■調査研究報告 第10号 (1997年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	増田逸朗	「古墳出現期の北武蔵—前方後方墳成立の要因—」	pp.1-20	○
02	斎藤修平	「感覚のフォークロア—不潔意識と時間感覚について—」	pp.21-36	○
03	斎藤修平	「民俗事例の窓—自治体は民俗をどのように描いてきたのか—」	pp.37-104	○
04	渡辺 勤	「博物館と学校教育の連携 (2) —「博学融合」の試み—」	pp.105-114	○

■調査研究報告 第11号 (1998年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	高橋一夫	「稻荷山鉄剣と教科書」	pp.1-22	○
02	岡本健一	「企画展「古墳時代の馬の装い—さきたまに馬がやってきた」の記録」	pp.23-44	○
03	宮 昌之	「《資料紹介》 稲荷山古墳出土の須恵器—平成9年度発掘資料—」	pp.45-56	○
04	斎藤修平	「民俗事例の窓 (2) —自治体は民俗をどのように描いてきたのか—」	pp.57-92	○
05	田中裕子	「最後のオカノエ講—行田市大字埼玉百塚中組の庚申講—」	pp.93-100	○
06	渡辺 勤	「博物館と学校教育の連携 (3) —ボランティア活動の試み—」	pp.101-110	○
07	高橋一夫 塚田良道 吉川國男 宮 昌之 塩野 博 斎藤国夫 坂本和俊	「埼玉古墳群研究の新視点」	pp.111-118	○
08	吉川國男	「雄略紀所載の武蔵国直丁と稲荷山鉄剣銘について」	pp.119-134	○

■調査研究報告 第12号 (1999年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	—	「シンポジウム「ここまでわかった！稲荷山古墳」—鉄剣銘文発見20年の成果・記録集—」	pp.1-52	
02	柳 正博	「埼玉のコトハ日—2月8日と12月8日の一考察—」	pp.53-71	○
03	三田村佳子	「漂着伝承と祭事—沓瀬原・中川水系における—」	pp.72-100	○
04	田村宜也	「博物館と学校教育の融合を目指して—「出前授業」「博学合同研修会」の取り組みを通して—」	pp.101-112	○

■調査研究報告 第13号 (2000年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	小久保 徹	「終末期の方墳について—鶴ヶ丘古墳群をめぐって—」	pp.1-8	○
02	西口正純	「稲荷山古墳確認調査の概要—平成9・10年度—」	pp.9-14	○
03	中山浩彦	「埼玉県内古墳出土の勾玉について (1)」	pp.15-20	○
04	柳 正博	「埼玉の天気占い—占いの行事、そして自然からの発信—」	pp.21-40	○
05	三田村佳子	「北埼玉の地蔵祭り」	pp.41-92	○
06	田村宜也	「博物館と学校教育の裕吾を目指してⅡ—新学習指導要領と博物館—」	pp.93-119	○

■調査研究報告 第14号 (2001年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	小久保 徹	「終末期古墳の副葬品組成について—『埼玉県古墳詳細分布調査報告書』を基礎資料として—」	pp.1-6	○
02	西口正純	「稲荷山古墳保存整備事業—平成11年度 確認調査の概要と復原設計—」	pp.7-12	○
03	田中英司	「將軍山古墳出土の安山岩製削器について」	pp.13-14	○
04	中山浩彦	「埼玉県内古墳出土の勾玉について (Ⅱ)」	pp.15-24	○
05	三田村佳子	「埼玉の風祭り—周辺地域との関わりのなかで—」	pp.25-60	○
06	利根川章彦	「平成12年度さきたまアカデミア「博学連携」実施の記録」	pp.61-81	○

■調査研究報告 第15号 (2002年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	若松良一	「資料報告 埼玉古墳群出土埴輪と土師器の新資料」	pp.1-22	○
02	利根川章彦	「稲荷山古墳の築造年代に関する覚書」	pp.23-52	○
03	服部 武	「埼玉県で発明された農具—日高市の桑扱器についての報告 I—」	pp.53-68	○

■調査研究報告 第16号 (2003年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	若松良一	「資料報告 武蔵埼玉稲荷山古墳出土の埴輪Ⅰ」	pp.1-26	○
02	中山浩彦	「稲荷山古墳外堀の陸橋部について」	pp.27-38	○
03	利根川章彦	「武蔵国造の乱」はあったか—6世紀前半以降の上野・武蔵地域の政治勢力の所在—	pp.39-54	○
04	服部 武	「職人策と農家副業の策—流通の違いに焦点をあてた製造法の比較—」	pp.55-62	○
05	谷澤 孝	「『太平記絵巻』と寛文期文化の一側面—絵入り版本と幸若舞「新曲」—」	pp.63-86	○

■調査研究報告 第17号 (2004年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	若松良一	「資料報告 武蔵埼玉稲荷山古墳出土の埴輪Ⅱ」	pp.1-46	○
02	杉崎茂樹	「埼玉古墳群出現当時の地理的景観について」	pp.47-68	○
03	服部 武	「資料紹介 「北武蔵の農具」に見る「特許」「新案」等の標記について」	pp.69-84	○

■調査研究報告 第18号 (2005年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	—	「稲荷山古墳鉄剣発見 35周年記念講演会」	pp.1-24	
02	教育普及 調査研究報告	「丸墓山古墳西方隣接地区試掘調査報告」	pp.25-38	○
03	若松良一	「〈資料報告〉武蔵埼玉稲荷山古墳出土の埴輪Ⅲ」	pp.39-74	○
04	大明 敦	「日本の宗教行動に関する一試論—生態学的心理学の見地から—」	pp.75-86	○

■調査研究報告 第19号 (2006年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	群馬大学教授 森田悌先生	「さきたま講座講演記録 古代史上の埼玉古墳群」	pp.1-9	
02	杉崎茂樹	「埼玉古墳群陣場地区所在古墳についての覚書」	pp.10-20	○
03	若松良一	「資料報告 埼玉稲荷山古墳出土家形埴輪の復原について」	pp.21-30	○
04	村田章人	「入館者動向から見たさきたま資料館の利用形態」	pp.31-38	○
05	関口孝明	「さきたま資料館の教育普及活動—体験的な活動を中心として—」	pp.39-46	○
06	大明 敦	「さきたま資料館所蔵民俗資料の整理と移動—平成16・17年度を振り返って—」	pp.47-58	○